

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社	代表取締役	高橋 康巳	東京都	製造業	https://www.unilever.co.jp/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2019年10月18日
-------	-------------

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ①	物流の改善提案と協力	・取引先や物流事業者から、荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、附随作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
2	A ②	予約受付システムの導入	・トラックの予約受付システムを導入し、荷待ち時間を短縮します。
3	A ⑩	リードタイムの延長	・厳しく深刻化していく物流環境下、持続可能な労働環境作りを目指します。翌日納品を中1日(翌々日納品)に延長できるよう、お取引様との契約変更を推進します
4	A ⑫	混雑時を避けた配送	・繁忙期における物流業者、着荷主側の混雑緩和のため、出荷時間や納品時間を分散させます。
5	A ⑯	検品水準の適正化	・リードタイム延長と同時に、発荷主側での検品水準を見直し、ノー検品納品を推進します
6	F ①	定期定量発注と中継輸送	・定期定量発注、及び定期中継輸送による労働環境改善を推進します

PR欄	「サステナビリティを暮らしの”あたりまえ”に」というパーパス(企業目的)のもと、革新・協働を通してよりよい物流の未来を創っていきます。
-----	---